

未来を創造する子どもの育成とキャリア教育

多古町教育研究協議会キャリア教育研究部 部長 平山 富子
少子高齢化、グローバル化、AIによる技術革新等により、これからの社会・産業構造の変化はいつそう予測が難しくなり、これからの子ども達には、社会が求める力を身につけるというより、新しい社会のシステムを創り出す力が求められているといえるでしょう。そのためには、失敗を恐れず何事にも挑戦していく力、課題を共有しチームで解決していく力が必要となってきます。だからこそ、次代を担い、創り出す今の子ども達には、「知っていること・できることをどう使うか」、そしてその土台として「どのように社会や世界と関わり、自分の人生を切り拓いていくか」を考えることが大切になってきます。

多古町では、既に10年以上前から、「多古の子・町の子・みんなの子」を合言葉として、産（事業所）学（学校）官（行政）が一体となり、このような土台となる力を育てています。さまざまな事業所で「失敗や挑戦」「情報発信や課題解決した過程」をお聞きすることは、子ども達にとって大きな力となっています。未来を創造し、たくましく生き抜く子ども達を育てていくために、さらに多古町のキャリア教育を充実させていきたいと思ひます。

グローバルキャリア事業

＜常磐小学校＞

キャリア教育の一環として、空港関係の方のお話を聞き、職業に対する理解を深めました。

- 成田空港では、いろいろな業種の人たちが協力して働いていました。その中で、案内カウンターの方が英語や韓国語で、てきぱきと対応する姿を見て、素敵だなと思いました。（Y. T）
- 第3ターミナルの手荷物検査の様子を見学しました。飛行機の運航や乗客の安全のため、念入りにチェックを行うなど、日々努力していることがわかりました。（R. U）
- 旧管制塔に上がって空港内の敷地をながめると、旅客機の他に、窓のない貨物用飛行機がたくさんとまっていた驚きました。日本の貿易に空港は役立っていると思いました。（Y. N）

花 交 流

＜多古第一小学校＞

多古高校生産流通科の生徒さんに教えていただきながら、多古第一小学校の3年生が花の種を植えました。

- ピンセットを使って土の中にたねを入れました。一人ずつやるので、緊張しました。高校生のみなさんとも仲よくできて、うれしかったです。（K. M）
- 多古高校のお兄さんお姉さんがやさしく教えてくれたから、上手に植えることができてうれしかったです。わたしが植えたきれいな花を早く見たいです。（S. H）
- わたしは、花交流でストックという花のたねをまきました。まきかたを多古高校のお兄さんがやさしくていねいに教えてくださいました。とても楽しかったです。（K. N）

キャリア教育活動報告

常磐小学校

- ぼくは釜屋支店で仕事体験をしました。そばをゆでたり盛り付けたりする体験ができて楽しかったです。だしに2種類のかつお節やこんぶのだしを入れるなど、様々な工夫をしていることがわかりました。この経験を将来に生かしていきたいです。（H. S）



- ぼくは泉ベーカリーで仕事体験をしました。あんパンの生地を伸ばす作業が難しかったけど、慣れてくると楽しくなりました。パンを袋に入れる作業は、種類によって変わるので大変でした。これからも大切にパンを食べたいと思いました。（Y. O）



- 私はヤックス多古台店で仕事体験をしました。段ボールから品物を出して、たなに並べる作業は大変だったけど、品物をきれいに並べられた時はすごく気持ちよかったです。お客さんに品物を取ってもらった時はすごくうれしかったです。（S. T）



- ぼくは多古ピザで仕事体験をしました。ピザ作りで生地を量ったり野菜を切ったりしたのが楽しかったです。たまねぎの皮むきは涙が出て大変でした。体験してピザができるまでの流れがわかりました。職場の雰囲気がよくて、とても楽しかったです。（Y. S）



久賀小学校

- ビューティーサロン TOKORO で体験をして、美容師になるのは大変だと分かりました。美容師さんは、休けいがなくとも、頑張っていることが分かりました。美容師になるために今から感性をみがきたいです。（K. K）



- 多古こども園で体験をして、子どもが何人もいるなかで全員をよく見ていないといけななので大変だと思いました。子どもたちと触れ合うのが楽しかったです。将来に活かしていきたいと思ひます。（H. S）



- かねまつ動物病院では、先生が病院の仕事内容や、動物の病気の事などを優しく教えてくださいました。野良の動物用の薬を容器に入れる手伝いをしました。ぴったりの重さにするのが大変でしたが、楽しかったです。（T. M）



- 池田YAストアに行った感想は、楽しかったことです。池田YAストアさんの仕事は袋詰めなど楽しいものばかりでした。袋詰めの機械も見られたり、知らないことも分かったりしたので、良かったです。（T. K）

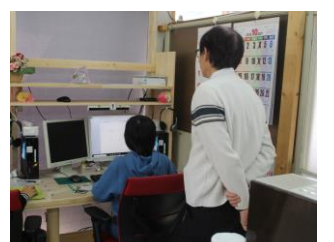


多古第一小学校

- ヘアサロンbireiに行きました。タオルは種類ごとにたたみ方が違うので覚えるのが大変でした。また、雑誌を用意したり、シャワーの水温を調整したりしていました。お客さんのためにたくさん工夫していることが知れてよかったです。（T. S）



- アドバンネット職場体験をしました。生徒にパソコンのことを教える仕事だけでなく、より良いお店にするための会議もしました。また、体が不自由な方が来たときにはドアやフェンスを開けるなど、人の役に立つ仕事ことができました。（N. K）



- 今出屋で職場体験をしました。店員の方は忙しいときでも笑顔で接客していました。もしも自分がお客の立場だったら、笑顔で接客されると話しかけやすくなると思います。やっぱり笑顔はどんな職業にも大切なのだと思いました。（O. Y）



- みんなのらめめんBAMBUに行きました。立ちっぱなしの仕事は大変でした。ゆで卵の殻をむくスゴ技を見せてもらいましたが、自分では全然できませんでした。おいしいラーメンを食べてもらうための技や工夫を見ることができてよかったです。（Y. R）



中村小学校

○ 多古中央病院に行きました。デイサービスの利用者の方と、和やかで楽しい時間を過ごしました。私たちの日常的な動作でもリハビリになると聞いて、びっくりしました。また、普段は入れない場所で仕事をする姿を見ることができて、勉強になりました。(A. Y)



○ BASHで職場体験をしました。店に届いた本を袋から出したり、確認したりする作業を体験しました。本を運ぶのは、とても重かったのですが、毎日この仕事をするのは大変なことだし、すごいことだと思いました。貴重な体験ができてよかったです。(S. S)



○ 多古タイヤサービスで職場体験をしました。車のエンジンルームや作業の仕方を詳しく教えていただきました。特に、タイヤ交換とオイル交換の体験が印象に残りました。難しくてなかなかうまくできなかったけど、初めて体験したので、嬉しかったです。(S. E)



○ セブンイレブン南並木店に行きました。普段、何気なく買い物をしていましたが、見学や体験をしてみると、気付かなかったことや知らなかったことがたくさんあって驚きました。工夫がたくさんあったので、今度から意識して買い物をしようと思います。(T. W)



多古中学校 第1学年

○ 人セミナーで学んだことは、夢や目標に向かって今からできることをやるのが大切であるということです。みんな、それぞれ違う夢があって今からなら何にでもなれると思いました。将来についてよく考えることができた有意義な時間になりました。(Y. N)



○ 私は保育士になりたいということを発表しました。講師の先生からいただいたアドバイスのおかげで不安や悩みがなくなりました。教えていただいたことを今後の生活に活かしていきたいと思います。(H. A)



○ 自分の夢を発表し、アドバイスをもらったことはなかったので、すごく貴重な体験をすることができました。講師の先生からいただいたアドバイスを参考にして、自分の夢を果たすためにも日々努力していきたいです。(M. S)



○ 私は今回、接客業という夢を発表しました。人セミナーの前までは、将来の夢を深く考えたことはありませんでしたが、将来について考える良い機会になりました。将来、どんな職業についても恥ずかしくないように、今は自分ができることを精一杯頑張っていきたいと思います。(H. I)



多古中学校 第2学年

○ 私は保健福祉センターで職場体験をしました。そこで色々な事務作業をしました。とても疲れましたが、仕事の大変さだけでなくこのような作業が普段の私たちの生活を支えているのだと感じました。(S. K)



○ 私は多古町学校給食センターへ体験に行きました。事業所の方々が休まずに給食を作っている姿から働くことの大変さを知りました。今回の職場体験を通して、仕事の大変さやきまりの大切さを学ぶことができました。(K. H)



○ 私は職場体験で嵐の湯に行きました。そこで、爽やかな笑顔での挨拶や細かい心配りについて学ぶことができました。私が初日にお店に入った時、お店の方々に笑顔で挨拶をされ、気持ちが良かったし、好感が持てました。(M. S)



○ 私は前林園芸で職場体験に行きました。3日間の仕事で、私はすっかり疲れてしまいました。しかし、従業員の方々をそうした様子も見せず仕事をしていて驚きました。「大変だがやりがいがある」と話していて、私も将来やりがいのある仕事をしたいです。(W. S)



多古高校との英語交流

＜久賀小学校＞

○ テッサ先生のいろいろな質問に、高校生がたくさん答えていました。いつもの授業とはちがう感覚で楽しかったです。私も高校生になったら、小学校に来て、一緒に勉強してみたいくなりました。(I. K)

○ 高校生は、英語が上手で、ぼくが分からない言葉や発音をやさしく教えてくれました。また、ぼくの兄も多古高校に通っているのので、「だれだれの弟でしょ。」と言われたり、質問してくれたりして、楽しかったです。(O. A)

○ 最初はどんな人なんだろうとドキドキしていましたが、会って話してみると、やさしくて、すぐに仲良くなれました。クイズのとき、私が手を挙げて答えると、「正解!」と言ってくれたので、うれしかったです。(O. M)

○ 多古高校のお姉さんの一人は、私のとなりの席にすわって、勉強しました。カードを使ってゲームをしたときに話をしたら、久賀小出身で、私のお姉ちゃんの同級生だったと知って、びっくりしました。(S・M)

キャリア教育研究部 各班の報告

調査班より

今年度も児童生徒がお世話になった事業所を対象に、アンケートを実施しました。アンケート結果から、今後の活動に生かすために良かった点、改善すべき点などについてまとめました。

☆良かった点

- ・どの事業所でも挨拶がよく、意欲的に活動できていました。
- ・学校と事業所の連携では、児童生徒への事前指導、打合せによりスムーズな活動ができました。
- ・新規の事業所でも好意的に児童を受け入れてくれ、子ども達の感性に触れ、充実した日と捉えていただきました。

★改善することができる点

- ・児童生徒にさせる体験(仕事)を決める際に戸惑うと答える事業所が多くありました。事前に体験内容の共通理解、児童・生徒の性格など簡単な資料提供ができるようにしていきたいです。

各校、次年度に引き継ぎ、改善をしていきたいと思います。各校の実施要項を共有し、町としてある程度統一した内容で事業を行っていただけるように工夫していきたいと思います。お忙しい中にもかかわらず、アンケートに御協力いただきありがとうございます。

広報班より

多古町の小中学校のキャリア教育の実践をまとめた、キャリア教育研究部広報誌を発行します。紹介事業所が偏らないように、各小学校、中学校で紹介事業所の一覧を作り調整しました。しかし、紙面の都合上、御協力いただいたすべての事業所を紹介できないのが残念です。

多古町では、「多古の子 町の子 みんなの子」というスローガンのもと、地域・家庭・学校が連携して、キャリア教育を行っています。その一環として行われているのが、小学校での「ゆめ・仕事びったり体験」、中学校での「人セミナー」や「職場体験」、高等学校での「インターシップ」です。今回、多くの事業所の皆様や地域の方々に多大なご協力をいただき、子供たちが大変充実した体験をさせていただきました。

キャリア教育研究部は、調査班と広報班の二つに分かれ、より効率的に活動が進むようにと取り組んでいます。本誌で、子供たちの成長の一端を知っていただけたら幸いです。

小・中・高の連携を取りながら、キャリア教育研究部の活動がさらに進むように、これからも皆様の御支援・御協力をいただきたいと思います。